

事業報告

<研修名>

平成30年度 大分県社会教育主事専門研修会

<開催日時>

平成30年5月17日（木） 10:00～16:15

<会場>

県立図書館 第2・3研修室

<参加人数>

31名

<研修趣旨>

県下の生涯学習・社会教育の一層の振興を図るために、事業遂行の中核的役割を果たす県及び市町村の社会教育主事を対象に、その資質・能力の向上に資する研修を実施する。

<研修内容>

【研修1】講義 「新時代の到来を見据えた我が国における社会教育の新しい動き」

講師：国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
社会教育調査官(併)専門調査員 山田 智章 氏

研修1の講義では、「第3期育振興基本計画」で社会教育に何が求められているのか、その中で社会教育主事は何に力を入れていけばよいのか説明がありました。

【研修2】パネルディスカッション

「わたしの主張!! 今の時代の社会教育主事に求められるもの」

パネリスト

大分大学 高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏

別府大学 文学部 准教授 長尾 秀吉 氏

大分大学 教育学部 准教授 永田 誠 氏

県教育庁社会教育課 主任社会教育主事兼課長補佐（総括） 石井 圭一郎 氏

中津市教育委員会社会教育課 生涯学習推進室長 山本 健吾 氏

コーディネーター

県立図書館学校・地域支援課 地域学習支援担当 主任社会教育主事 馬場 尚登

研修2では、パネルディスカッションを行い、「社会教育とは」、「連携・協働、ネットワーク」、「キャリアパス」、「専門性」の4つのキーワードを元に社会教育主事に求められる資質や能力について参加者も交えて議論しました。

この中で、社会教育主事が果たすべき役割とは、言えそうなこととして、

- ①プランナー（地域課題を適格に反映した企画）
- ②アドバイザー（助言者として）
- ③コーディネーター（連携・調整を図る）
- ④ファシリテーター（やる気にさせる）
- ⑤インキュベーター（活動を長い目で支援する）
- ⑥アドボケーター（地域ビジョンと方策を提唱）
- ⑦プロデューサー（演出者として）
- ⑧プロモーター（推進者として）
- ⑨プログラマー（学習計画立案者として）
- ⑩コンサルタント（診断・助言者として）
- ⑪カウンセラー（相談者として）
- ⑫コミュニティ・オーガナイザー（組織者として）

などがあげられました。これは研修1の講義で示された社会教育主事に求められる資質・能力と共通するものでした。

<当日の様子（写真）>

【開会行事】 開会挨拶
県立図書館 館長 塩川 也寸志



【研修1】「第3期 教育振興基本計画を踏まえて」
社会教育実践研究センター 山田 智章氏



【研修2】 パネルディスカッション



研修2における協議（情報交換）



<参加者感想>

◆◆感想◆◆

- ・午前の研修は自分の仕事の基礎を学ぶことができ、午後は貴重な意見を伺うことができ、日々の仕事で大事にしていきたい考えを改めて考える機会になった。
- ・社会教育関係の先生達が一堂に集まり議論する研修はなかなかなく、議論が深まりよかった。
- ・フットワークを軽くして課題解決の糸口を見つけるための分析力、その他様々な能力を身につけなければ。
- ・市町村の現場での生の声を聞くことのできるよい機会になった。また、パネリストから自分では言語化の難しい内容について分かりやすく話を聞いて有意義だった。
- ・日頃、現場（公民館）での実践ばかりなので「教育振興計画」の答申や理論を学ぶよい研修となった。

◆◆意見◆◆

- ・専門性向上及び専門性のシェアのため毎年開催してもらえるとありがたい。日程もよかった。
- ・パネルディスカッションのキーワード「社会教育とは」、「社会教育主事の専門性とは」は、毎年でもよい。